

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【位置図】（烏川・神流川区間）

資料 - 2

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、1都5県にまたがり、首都圏を擁した関東平野を流域として抱える利根川・江戸川においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、利根川本川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和22年9月カスリーン台風と同規模の洪水に対して資産の集中する首都圏中枢部での越水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。



< S 2 2 . 9 カスリーン台風 >
 烏川左岸 利根川合流点付近
 芝根村 (現: 玉村町) 五科地先堤防決壊

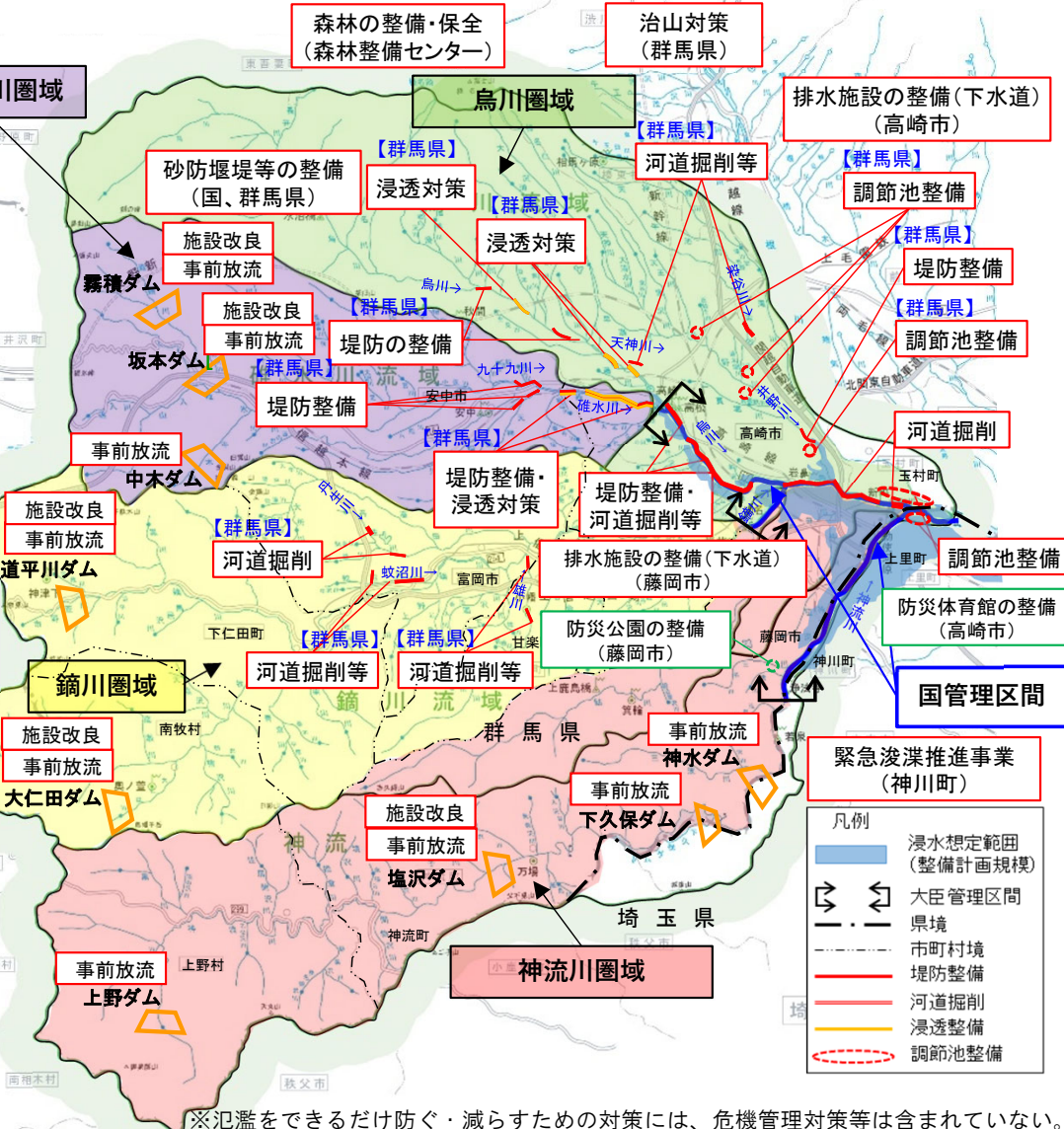


- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・洪水氾濫対策（堤防整備、調節池、河道掘削、ダム等の改良・維持補修、利水ダム等の事前放流等の実施 等）
 - ・砂防堰堤等の整備（いのちとくらしを守る土砂災害対策）
 - ・内水氾濫対策（下水道等の排水施設の整備）
 - ・流出抑制対策（雨水貯留施設の設置に関する条例の制定）
 - ・流域の雨水貯留機能の向上（防災調節池の整備、森林整備・保全、治山対策）

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫（宅地開発等に関する指導要綱の制定）
 - ・まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実（内水氾濫マップの作成、河川監視カメラの設置）

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・防災公園及び防災体育館の整備
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・避難体制等の強化（水防倉庫の設置及び資機材の配置、水防資機材の配置）
 - ・情報発信の強化（河川監視カメラの設置、洪水時におけるホットライン、想定し得る最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの普及・啓発）
 - ・早期復旧の体制強化（排水ポンプ車の運用、自治体、地域住民、水防団等と洪水に対してリスクが高い区間（重要水防箇所等）の共同点検を実施）
 - ・住民の主体的な避難行動を促す取組

●**グリーンインフラの取り組み** 詳細次ページ



※氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策には、危機管理対策等は含まれていない。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。1

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【位置図】

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『～首都圏近郊における多種多様な生物の生息・生育環境の保全・再生～』

○利根川・江戸川の自然環境は、長い年月をかけ、渓谷、湿地、礫河原、湖沼、干潟、ヨシ原等の多様な環境を形成してきたが、攪乱頻度の減少や外来種の侵入等により一部の区間では特定の動植物が繁殖し、在来種の確認数が減少している。また、高水敷の乾燥化等により、植生が単調化する等の環境の変化が懸念されている。また、河川空間は、地域の実情にあわせ、魅力と賑わいのある水辺空間の創出が望まれており、多様な利用がなされている。

○国際的な絶滅危惧種であるオオセッカやコジュリンの繁殖・越冬やヒヌマイトトンボの生息など多様な生物の生息・生育場を保全再生するため、令和7年度までにヨシ原、干潟、湿地の整備による生物の生息環境の保全・再生をするなど自然環境が有する多様な機能を生かすグリーンインフラの取組を推進する。

●自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・湿地再生
- ・生物の多様な生育環境の保全・創出
- ・魚道整備

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・エコロジカル・ネットワークの推進
(コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくり)
(植生再生、湿地の再生)
- ・水田を利用した、田んぼダムや冬期湛水
- ・森林の造成・保育、水源涵養
- ・官民協働による水質、水田生物の調査
- ・河川環境学習
- ・自然体験学習の支援
- ・舟運による水辺の賑わい

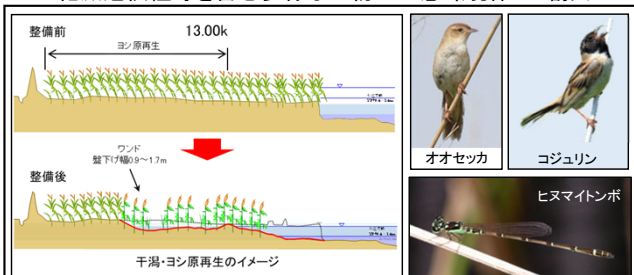
●治水対策における多自然川づくり

- ・生物の多様な生息・生育環境の創出
- ・緑化によるうるおいのある水辺空間の創出
- ・植生帯整備

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

- ・かわまちづくり
(高崎市・みなかみ町・印旛沼流域)

絶滅危惧種等を含む多様な生物の生息環境保全・創出



排水樋管に魚道を整備

利根川に飛来するコウノトリ

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【ロードマップ】（烏川・神流川区間）

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

- 烏川・神流川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 河川の治水安全度を向上するため、烏川上流部の堤防整備を完成させる。また、宅地開発等の指導要綱の制定や防災公園の整備を完了させる。
 - 【中期】 河川、下水道及び森林の整備を促進する。
 - 【中長期】 土砂災害対策、調節池の整備や河道掘削等を完成させ流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容		実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水を安全に流す対策	堤防の整備	国・群馬県	烏川上流堤防整備完了		
		河道掘削	国・群馬県	烏川中・上流部河道掘削完了		
	洪水を貯める対策	調節池の整備	国・群馬県・安中市	烏川調節池完了		
		利水ダム等の事前放流	国・群馬県・安中市等			
	内水氾濫対策	雨水排水網の整備	高崎市・藤岡市			
	砂防堰堤等の整備	いのちとくらしを守る土砂災害対策	国・群馬県			
	流域の雨水貯留機能の向上	森林整備・保全・治山対策	国・群馬県 森林研究・整備機構森林整備センター			
被害対象を減少させるための対策	宅地開発等に関する指導要綱の制定	高崎市・藤岡市・富岡市・甘楽町・上里町				
	内水氾濫マップの作成・河川監視カメラの設置	玉村町				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップの策定・周知	高崎市・藤岡市・玉村町・上里町・神川町・安中市・下仁田町・富岡市	自治体、地域住民、水防団等と洪水に対してリスクが高い区間(重要水防箇所等)の共同点検を実施			
	防災公園及び防災体育館の整備	藤岡市・高崎市	防災公園・防災体育館整備完了			

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

●グリーンインフラの取組
次ページ

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※ ■■■■：対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
グリーンインフラの 取組	湿地再生	国	▶		
	魚道整備	国	▶		
	生物の多様な生息・生育環境の創出	国・千葉県・群馬県・栃木県・小山市	▶		
	生物多様性の保全	熊谷市・野田市・宇都宮市・栃木市・小山市・野木町・行田市	▶		
	広域交流拠点	国・千葉県・香取市	▶		
	水辺空間整備	前橋市・小山市・千代田町・境町	▶		
	かわまちづくり	高崎市・みなかみ町・印旛沼流域	▶		
	緑化によるうおいのある水辺空間の創出	東京都	▶		
	森林の造成・保育、水源涵養	栃木県・群馬県・森林整備センター	▶		
	エコロジカル・ネットワークの推進 (コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくり) (植生再生、湿地の再生)	国・各県・各市町	▶		
	河川環境学習	国・市川市・鎌ヶ谷市・高崎市	▶		
舟運による水辺の賑わい	取手市・印西市	▶			

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

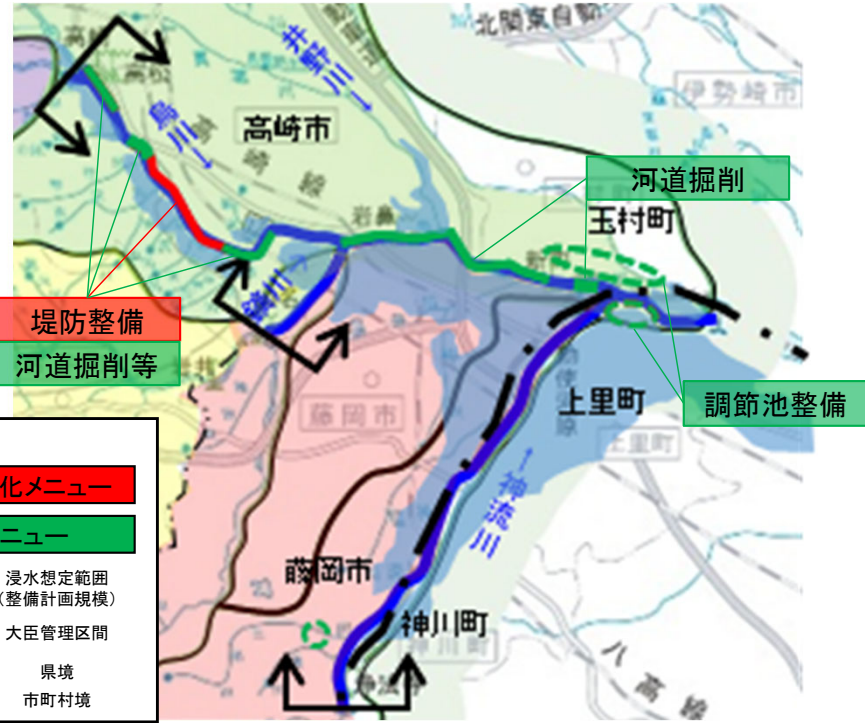
利根川・江戸川流域治水プロジェクト（烏川・神流川区間）進捗と効果（R4.3版）

～我が国の社会経済活動の中核を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

○烏川上流右岸無堤部の堤防整備を令和7年度までに完了することで、高崎市根小屋町において浸水被害の軽減を図る。

短期整備（5カ年加速化対策）効果（利根川・江戸川）：河川整備率 約52%→約61%（整備計画規模） ※利根川・江戸川流域治水プロジェクト全体

位置図



スケジュール

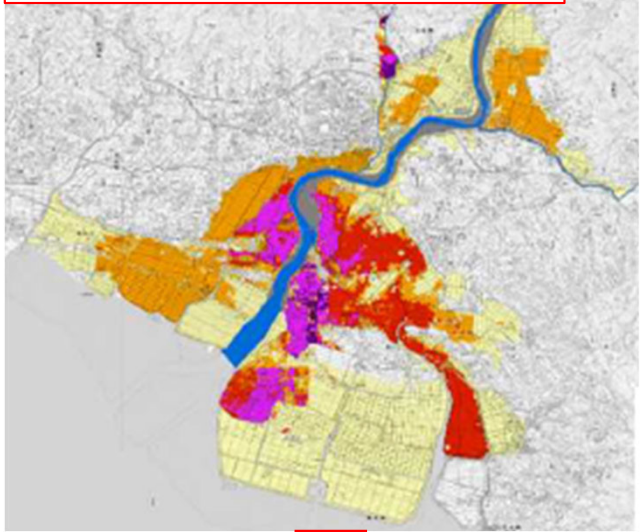
対策内容		工程		
		短期	中期	中長期
洪水を安全に流す対策	堤防の整備	■	■	■
	河道掘削	■	■	■
洪水を貯める対策	調節池の整備	■	■	■

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

現状

R3.5末

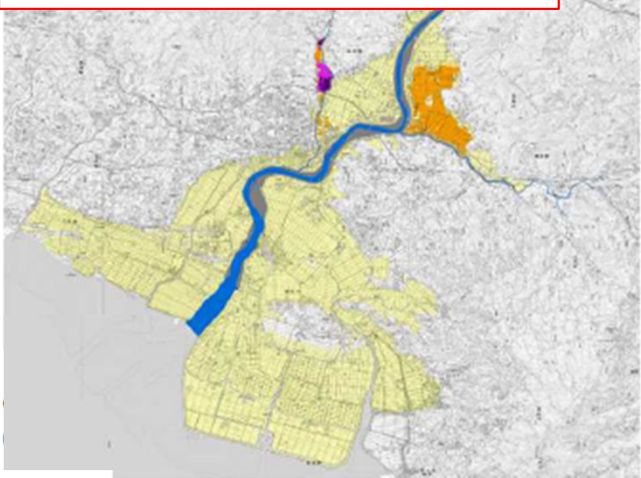
イメージ（他の河川）



短期

R8.3末

イメージ（他の河川）



利根川・江戸川流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～我が国の社会経済活動の中核を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

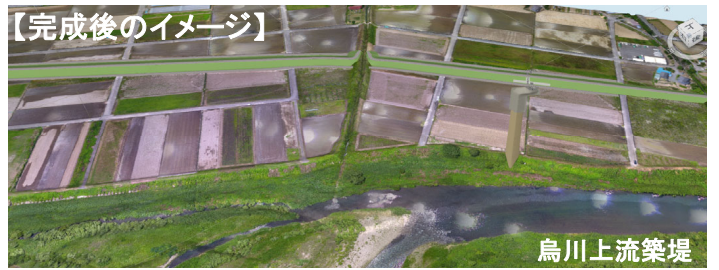
<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備率</p>  <p>集計中</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>集計中</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>集計中</p>	<p>山地の保水機能向上・土砂・流木対策</p>  <p>地山：集計中 砂防：集計中</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p>集計中</p>	<p>水害リスク情報の提供</p>  <p>洪水浸想：集計中 内水浸想：集計中</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>避難確保計画：集計中 個別避難計画：集計中</p>
---	--	--	---	---	--	---

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

烏川上流築堤事業

現在、無堤部となっている烏川上流において、築堤を実施し治水安全の向上を図る。

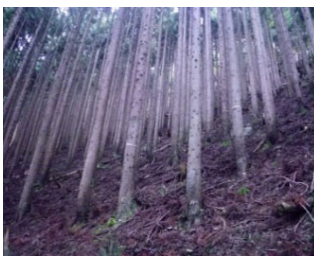
【完成後のイメージ】



烏川上流築堤

水源林造成事業による森林整備・保全

奥地水源地域の民有保安林を整備し、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る。



間伐実施前



間伐実施後

被害対象を減少させるための対策

玉村町 内水氾濫マップの作成・河川監視カメラの設置

(豪雨や台風時における河川周辺住民の適切な避難判断を促すため、過去に浸水被害が発生した箇所に監視カメラを設置し、浸水状況をリアルタイムで確認する(HPに形成)ことで早期避難を促し、被害を未然に防ぐ)



設置したカメラ



河川名	烏川
局名	五科矢川樋管
撮影周期	5分
監視状態	監視中
所在地	佐波郡玉村町大字五科

HPに掲載しているカメラの画像及び稼働状況

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

藤岡市防災公園の整備

(大規模災害時には仮設住宅の設置や支援物資の集配拠点として、平常時には市民の憩いの場として活用するため、大規模災害時の復旧・支援の活動拠点として整備 4.1ha)



R3.7供用開始

高崎市(仮称)新町防災体育館の建設

洪水浸水想定区域が広がる新町地域の緊急避難対策として建設

